



ごあいさつ

公益社団法人日本診療放射線技師会

会長 中澤 靖夫

第35回日本診療放射線技師学術大会が9月14日(土)から16日(月・祝)までの3日間、埼玉県大宮ソニックシティにおいて田中宏大会長(公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長)の下、関東甲信越地域に所属する各都県(診療)放射線技師会の全面的なご協力のおかげで開催できますことを、心よりお礼申し上げます。

今大会のテーマは「国民と共にチーム医療を推進しよう」であり、サブテーマは埼玉県診療放射線技師会の総意を表した「彩の国から未来へ」です。埼玉県の歴史をひも解くと行田市には畿内に匹敵する9基の大型古墳があり、中でも稲荷山古墳からはヒスイの勾玉まがたまや銀のイヤリング、金象嵌銘文きんぞうがんめいぶんが印字された鉄剣が発掘されたことにより、歴史的に大変重要な国の史跡として、世界遺産登録への活動が行われています。川越市には川越城本丸御殿や蔵造りの街並み、時の鐘などがあり、年間700万人の観光客が訪れています。また2024年には新1万円札の「顔」となる深谷市生まれの渋沢栄一まがたまがいます。彼は明治新政府参与 井上馨の下、鉄道の建設、郵便制度の創設、租税制度の改革などを行い、日本資本主義の父といわれています。このように、埼玉県にはたくさんの観光地や歴史史跡が多く見られますので、学術大会と共に楽しんでいただきたいと思います。

本年も、全国47都道府県と連携しながら診療放射線技師の「AI時代の未来」を意識しつつ、ワクワクドキドキするすばらしい学術大会となるよう、会員の皆さまと協力していきたいと思います。

厚生労働省連携企画としましては「医療安全の推進について」「がん対策の推進について」「チーム医療の推進について」の3演題です。各演題には厚生労働省総務課医療安全推進室、がん・疾病対策課、医事課に基調講演などをお願いしています。招待講演としては「Current Status of Post-Primary Credentials: Benefits versus Disadvantages」と題して、世界放射線技師会(ISRRT)元会長マイケル・ワード博士、市民公開講座として「漫画「ラジエーションハウス」誕生からドラマ放映まで～16年間のキセキ～」と題して五月女康作氏、市民体験学習企画として「3D画像による人体解剖学体験」を予定しています。さらに会長講演・特別講演・教育講演・シンポジウム・JART特別企画・関連学会企画・分科会企画・SART大会企画・茨城県技師会企画・ブラッシュアップセミナー・ハンズオンセミナー・リーディングコーナー・放射線サーベイ検査実習・一般研究発表・ランチョンセミナー・スイーツセミナー・氷川神社参道を含めたMorning Runなどを準備しています。また日本画像医療システム工業会ならびに関連医療機器メーカー・医薬品メーカーのご協力により、医療機器の展示、医薬品の展示を企画していますので、多くの会員の参加をお願い致します。

最後になりましたが、学術大会の開催に当たり、3年間の長きにわたり準備していただきました田中宏大会長、堀江好一副大会長、富田博信実行委員長、各実行委員の皆さま方に心から感謝を申し上げるとともに、会員の皆さま方のご参加とご協力をお願いする次第です。

2019年8月吉日

公益社団法人日本診療放射線技師会

会長 中澤 靖夫